

1. 原子炉容器(1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)										備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル		
B1.102	B-A	下部胴の長手溶接継手	体積	可能範囲各100%	3	水中UT(内面)	可能範囲各100%		-	可能範囲各100%					(重大事故等クラス2機器)
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%※2	1	水中UT(内面)	5%※2		-	可能範囲100%					(重大事故等クラス2機器)
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	5%※2	1	水中UT(内面)	5%※2		-	可能範囲100%					(重大事故等クラス2機器)
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体積	5%※2	1	水中UT(内面)	5%※2		-	可能範囲100%					(重大事故等クラス2機器)
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	可能範囲100%	1	水中UT(内面)	可能範囲100%		-	可能範囲100%					(重大事故等クラス2機器)
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	可能範囲各100%	3	水中UT(内面)	可能範囲各100%		-	ABC可能範囲各100%					(重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	可能範囲各100%	3	水中UT(内面)	可能範囲各100%		-	ABC可能範囲各100%					(重大事故等クラス2機器)
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	可能範囲各100%	3	水中UT(内面)	可能範囲各100%		-	ABC可能範囲各100%					(重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	可能範囲各100%	3	水中UT(内面)	可能範囲各100%		-	ABC可能範囲各100%					(重大事故等クラス2機器)
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手(呼び径100A以上)	体積及び表面	可能範囲各100%	3	水中UT(内面)PT	可能範囲各100%	A(PT)100%	-	ABC(UPT)可能範囲各100%		C(PT)100%			(重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手(呼び径100A以上)	体積及び表面	可能範囲各100%	3	水中UT(内面)PT	可能範囲各100%		-	ABC(UPT)可能範囲各100%		B(PT)100%		C(PT)100%	(重大事故等クラス2機器)
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	58	VT-1(漏えい時又は取外し時)	100% 58	13	-	17		10		18	(重大事故等クラス2機器)
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	58	UT	100% 58	13	-	17		10		18	(重大事故等クラス2機器)
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58	UT	100% 58		-	20		19		19	(重大事故等クラス2機器)
B6.50	B-G-1	ワッシャ	VT-1	100%	58	VT-1(漏えい時又は取外し時)	100% 58	13	-	17		10		18	(重大事故等クラス2機器)
B7.10	B-G-2	マーマンカップリング	VT-1	25%	3	VT-1(漏えい時又は取外し時)	25% 1		-			1			(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改訂版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 2020年7月1日より維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「5%」は「可能範囲100%」と読み替える。



1. 原子炉容器(2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画(7ヵ年)									備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル		
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3	全範囲の7.5% 各検査時期毎※2	1	VT-3	可能範囲100% 各検査時期毎		-	可能範囲100%			可能範囲100%		(重大事故等クラス2機器)
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%	1	VT-3	可能範囲100%		-	可能範囲100%					(重大事故等クラス2機器)
		下部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%	1	VT-3	可能範囲100%		-	可能範囲100%					(重大事故等クラス2機器)
		炉心内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%	4	VT-3	可能範囲100%		-	可能範囲100%					(重大事故等クラス2機器)
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の7.5%	1	VT-3	可能範囲100%		-	可能範囲100%					(重大事故等クラス2機器)
		下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の7.5%	1	VT-3	可能範囲100%		-	可能範囲100%					(重大事故等クラス2機器)
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジングの溶接継手(上部)	体積又は表面	最外周の25%	最外周20(全52)	PT	最外周の25% 5		-				5		(重大事故等クラス2機器)
		最外周23(全55)			最外周の25% 6			-	3		3		(重大事故等クラス2機器)		
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲100%	-	VT-2	可能範囲100%	可能範囲100%	-	可能範囲100%		可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物(サポートブラケット、サポートシュー、基礎ボルト)	VT-3	25%	6	VT-3	25% 2		-	A出口 1			C出口 1		(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 2020年7月1日より維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「全範囲の7.5% 各検査時期毎」は「全範囲の7.5%」と読み替える。



2. 加圧器(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画(7ヵ年)									備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
								第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル			
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡板との周継手	体積	5%	1	UT	5%		-	5%					(重大事故等クラス2機器)	
		下部胴と下部鏡板との周継手	体積	5%	1	UT	5%		-					5%	(重大事故等クラス2機器)	
B2.12	B-B	上部胴の長手継手	体積	各10%	2	UT	各10%	A10%	-			B10%			(重大事故等クラス2機器)	
		下部胴の長手継手	体積	各10%	2	UT	各10%		-	A10%			B10%		(重大事故等クラス2機器)	
B2.13	B-B	上部胴と下部胴との周継手	体積	5%	1	UT	5%		-			5%			(重大事故等クラス2機器)	
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積	25%	6	UT	25% 2		-	1(サージ管台)				1(スプレイ管台)	(重大事故等クラス2機器)	
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体積	25%	6	UT	25% 2		-	1(サージ管台)				1(スプレイ管台)	(重大事故等クラス2機器)	
B5.40	B-F	管台とセーフエンドの溶接継手(呼び径100A以上)														
		加圧器逃がし弁管台	体積及び表面	25%	1	UT PT	25% 2		-							(重大事故等クラス2機器)
		加圧器安全弁管台			3				-							
		加圧器スプレイ管台			1			1	-							
加圧器サージ管台	1	1			-											
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	VT-1	25%	16	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	25% 4	1	-	1			2		(重大事故等クラス2機器)	
B8.20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手(スカート溶接継手)	表面	7.5%	1	PT	7.5%		-	7.5%					(重大事故等クラス2機器)	
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%		可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス2機器)	
F1.41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト)	VT-3	25%	1	VT-3	25% 1		-				1		(重大事故等クラス2機器)	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



3. 蒸気発生器(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画(7ヵ年)										備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル		
B2.40	B-B	管板と水室鏡との溶接継手	体積	1基の25%	3	UT	1基の25%		-	C 9%		C 8%		C 8%	(重大事故等クラス2機器)
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分、冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体積	1基の25%	6	UT	1基の25% 1		-			C入口 1			(重大事故等クラス2機器)
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手、冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手(呼び径100A以上)	体積及び表面	1基の25%	6	UT PT	1基の25% 1	A入口 1 (PT)	-	A入口 1 (UT) (ECT) (*1)					(重大事故等クラス2機器)
B7.30	B-G-2	1次側マンホールの取付けボルト	VT-1	1基の25%	96	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	1基の25% 8	C入口 3	-			C入口 2	C入口 3		(重大事故等クラス2機器)
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%		可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3	1基の25%	12	VT-3	1基の25% 1		-	C 1					(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
(*1)代替試験として内面ECTを合わせて実施



4. 配管(1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画(7ヵ年)										備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル		
B7.50	B-G-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)													
		1次冷却材ポンプ封水注入ライン A, B, Cループ	VT-1	25%	3	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	25% 1		-						C1
B9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)													
		1次冷却材管 (27.51NID, 836.00mm, 291NID, 311NID) A, B, Cループ	体積	25%	46	UT	25% 12	A3	-	A1 B1		A1 B1 C1	B1 C1	A1 C1	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器サージ管 (14B, 355.60mm)	体積	25%	7	UT	25% 2		-	1				1	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器安全弁ライン (6B) A, B, Cライン	体積	25%	30	UT	25% 8	A1 B1	-	A1 B1			C2	A1 C1	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器逃がし弁ライン (6B)	体積	25%	12	UT	25% 3		-	1		1	1		(重大事故等クラス2機器)
		加圧器スプレイレイン (4B, 144.30mm) A, Cループ	体積	25%	50	UT	25% 13	A2 C1	-	A2 C1		A2	A2 C1	A1 C1	
		加圧器補助スプレイレイン (4B)	体積	25%	1	UT	1		-					1	
		余熱除去ポンプ入口ライン (12B) B, Cループ	体積	25%	41	UT	25% 11	B1 C1	-	B1 C1		B1 C1	B1 C1	B2 C1	(重大事故等クラス2機器)
		SIS蓄圧注入ライン (12B, 318.50mm) A, B, Cループ	体積	25%	32	UT	25% 8	A1 B1	-	A1 C1		B1	C1	A1 B1	(重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側低圧注入ライン (6B, 165.20mm) A, Bループ	体積	25%	30	UT	25% 8	A1 B1	-	A1 B1		A1	B2	A1	
		SIS低温側低圧注入ライン (6B) A, B, Cループ	体積	25%	44	UT	25% 11	A1 B1	-	A2 C2		B1	C2	A1 C1	(重大事故等クラス2機器)
SIS高温側補助注入ライン (4B, 6B) Cループ	体積	25%	6	UT	25% 2		-	1			1				
B9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)													
		加圧器逃がし弁ライン (3B)	表面	25%	20	PT	25% 5	1	-	2		1		1	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器補助スプレイレイン (2B, 60.50mm)	表面	25%	19	PT	25% 5	1	-	1		1		2	
		余熱除去ポンプ入口ライン (12B) B, Cループ	表面	25%	4	PT	25% 1		-				B1		(重大事故等クラス2機器)
		RTDウエル及び閉止分岐管 (3B) A, B, Cループ	表面	25%	7	PT	25% 2		-	B1			A1		
		抽出・余熱抽出及びドレンライン (2B, 3B, 60.50mm, 89.10mm) A, B, Cループ	表面	25%	31	PT	25% 8	B1 C1	-	B1 C1		C3		C1	
		CVC S 充てんライン (3B, 89.10mm) Bループ	表面	25%	8	PT	25% 2		-	B1			B1		(重大事故等クラス2機器)
1次冷却材ポンプ封水注入ライン (11/2B) A, B, Cループ	表面	25%	3	PT	25% 1		-	A1							

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改訂版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

4. 配管(2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(7ヵ年)										備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル		
B9. 21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)													
		S I S 高温側補助注入ライン (2B, 60, 50mm) A, B, Cループ	表面	25%	12	PT	25% 3		-	B1		C1	B1		
		S I S 低温側補助注入ライン (2B, 60, 50mm) A, B, Cループ	表面	25%	7	PT	25% 2		-	A1				B1	
		S I S 低温側ほう酸注入ライン (2B, 60, 50mm) A, B, Cループ	表面	25%	13	PT	25% 4	A1	-	B1		C1		B1	(重大事故等クラス2機器)
B9. 31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)													
		1次冷却材管 (4B, 6B, 12B, 14B) A, B, Cループ	体積	25%	11	UT	25% 3		-	A1		B1	C1		(重大事故等クラス2機器)
B9. 32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)													
		1次冷却材管 (2B, 3B, 63, 50mm) A, B, Cループ	表面	25%	17	PT	25% 5	A1	-	B1		C1	A1	B1	(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ入口ライン (12B) B, Cループ	表面	25%	2	PT	25% 1		-			B1			(重大事故等クラス2機器)
		S I S 高温側低圧注入ライン (2B) A, Bループ	表面	25%	2	PT	25% 1		-					A1	
		S I S 低温側低圧注入ライン (2B) A, B, Cループ	表面	25%	6	PT	25% 2		-	A1				C1	(重大事故等クラス2機器)
B9. 40	B-J	ソケット溶接継手													
		加圧器補助スプレイライン (2B)	表面	25%	1	PT	25% 1		-	1					
		R T D ウェル及び閉止分岐管 (2B) A, B, Cループ	表面	25%	3	PT	25% 1		-	A1					
		抽出・余剰抽出及びドレンライン (2B) A, B, Cループ	表面	25%	6	PT	25% 2		-	A1		C1			
		1次冷却材ポンプ封水注入ライン (11/2B, 4B, 60mm) A, B, Cループ	表面	25%	46	PT	25% 12	A2 B1	-	B2 C1		A1 C1	C2	A1 B1	
		S I S 高温側補助注入ライン (2B) A, B, Cループ	表面	25%	15	PT	25% 4	A1	-	B1		C1		A1	
		S I S 低温側補助注入ライン (2B) A, B, Cループ	表面	25%	3	PT	25% 1		-	B1					
		S I S 低温側ほう酸注入ライン (2B) A, B, Cループ	表面	25%	3	PT	25% 1		-						C1

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

4. 配管(3/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(7ヵ年)										備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル		
B15.50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲100%	-	VT-2	可能範囲100%	可能範囲100%	-	可能範囲100%		可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	(重大事故等クラス2機器)
F1.10	F-A	支持構造物													
		加圧器サージ管	VT-3	25%	9	VT-3	25% 3		-		1	1		1	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器逃がし弁ライン	VT-3	25%	19	VT-3	25% 5	1	-		2	1		1	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器スプレイライン A、Cループ	VT-3	25%	62	VT-3	25% 16	A2 C2	-	A1 C1	C2	A2 C1	A2	C3	
		余熱除去ポンプ入ロライン B、Cループ	VT-3	25%	37	VT-3	25% 10	B1	-		B2 C2	B1 C1	B1	B1 C1	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器補助スプレイライン	VT-3	25%	22	VT-3	25% 6		-		2	2		2	
		CVCス充てんライン Bループ	VT-3	25%	6	VT-3	25% 2		-		B1	B1			(重大事故等クラス2機器)
		抽出・余剰抽出及びドレンライン A、B、Cループ	VT-3	25%	32	VT-3	25% 8	A1 B1	-	A1 C2		B1	A1	C1	
		1次冷却材ポンプ封水注入ライン A、B、Cループ	VT-3	25%	19	VT-3	25% 5	A1	-	B1		C1	A1	B1	
		SIS蓄圧注入ライン A、B、Cループ	VT-3	25%	32	VT-3	25% 8	A1 B1	-	C1		A1 B1	B1	C2	(重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側低圧注入ライン A、Bループ	VT-3	25%	21	VT-3	25% 6	A1 B1	-		A1	A1	A1	B1	
		SIS低温側低圧注入ライン A、B、Cループ	VT-3	25%	27	VT-3	25% 7	A1 B1	-		A1 C1	B1		C2	(重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側補助注入ライン A、B、Cループ	VT-3	25%	22	VT-3	25% 6	A1 B1	-		C1	B1	C1	C1	
		SIS低温側補助注入ライン A、B、Cループ	VT-3	25%	13	VT-3	25% 4	A1	-	B1		C1		A1	
SIS低温側ほう酸注入ライン A、B、Cループ	VT-3	25%	24	VT-3	25% 6	A1 B1	-	C1		A1	B1	C1	(重大事故等クラス2機器)		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開委会「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる委会」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



5. 1次冷却材ポンプ(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画(7ヵ年)									備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル		
B6.180	B-G-1	スタッドボルト	体積	1台の25%	72	UT (装着時又は 取外し時)	1台の25% 6		-				C6		(重大事故等クラス2機器)
B6.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1	1台の25%	72	VT-1	1台の25% 6		-				C6		ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)
B6.200	B-G-1	ナット	VT-1	1台の25%	72	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	1台の25% 6		-				C6		(重大事故等クラス2機器)
		ワッシャ	VT-1	1台の25%	72	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	1台の25% 6		-				C6		(重大事故等クラス2機器)
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	1	3	VT-3	1		-				C1		ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%		可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚、ベースプレート、 基礎ボルト)	VT-3	1台の25%	9	VT-3	1台の25% 1		-				C1		(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



6. 弁(1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NAI-2008※1				高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (7ヵ年)										備 考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
								第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
B7.70	B-6-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)														
		加圧器安全弁ライン A、B、Cライン 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	24	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 8	3V-RC- 057 8	-							(重大事故等クラス2機器)
		加圧器逃がし弁ライン 3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	30	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 10		-	3V-RC- 054A 10						(重大事故等クラス2機器)
		3PCV-455A 3PCV-455B 3PCV-454C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	18	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 6		-	3PCV- 455B 6						(重大事故等クラス2機器)
		加圧器スプレイレイン A、Cループ 3PCV-454A 3PCV-454B	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	16	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 8		-			3PCV- 454A 8				
		加圧器補助スプレイレイン 3V-CS-225	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 6		-				3V-CS- 225 6			
		CVC S 充てんライン Bループ 3V-CS-233 3V-CS-234	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	20	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 10		-				3V-CS- 234 10			(重大事故等クラス2機器)
		抽出・余剰抽出及びドレンライン A、B、Cループ 3V-RC-019A 3V-RC-019B 3V-RC-019C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	24	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 8		-						3V-RC- 019A 8	
		3V-RC-017	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	10	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 10	3V-RC- 017 10	-							
		3LCV-451 3LCV-452	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	12	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 6	3LCV-451 6	-							
		余熱除去ポンプ入ロライン B、Cループ 3PCV-420 3PCV-430	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	36	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 18		-	3PCV-430 18						(重大事故等クラス2機器)
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	36	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 18		-			3V-RH- 003A 18				(重大事故等クラス2機器)
		S I S 蓄圧注入ライン A、B、Cループ 3V-SI-134A、136A、136B 3V-SI-134B、136B 3V-SI-134C、136C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	96	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 16		-				3V-SI- 136B 16			(重大事故等クラス2機器)
S I S 高温側低圧注入ライン A、Bループ 3V-SI-208A、208B 3V-SI-209A、209B	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	56	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 14		-				3V-SI- 208B 14					
S I S 低温側低圧注入ライン A、B、Cループ 3V-SI-202A、203A 3V-SI-202B、203B 3V-SI-202C、203C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	84	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 14		-						3V-SI- 203C 14	(重大事故等クラス2機器)		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。



6. 弁(2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(7ヵ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年			
								第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル				
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)															
		SIS高温側補助注入ライン Cループ 3V-SI-088	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	14	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 14		-						3V-SI- 088 14		
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面															
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	VT-3	類似弁ごとに 1	3	VT-3	類似弁ごとに 1		-	3V-RC- 055						(重大事故等クラス2機器)	
		余熱除去ポンプ入口ライン B, Cループ 3PCV-420 3PCV-430	VT-3	類似弁ごとに 1	2	VT-3	類似弁ごとに 1		-		3PCV-420					(重大事故等クラス2機器)	
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-3	類似弁ごとに 1	2	VT-3	類似弁ごとに 1		-			3V-RH- 003B				(重大事故等クラス2機器)	
		SIS蓄圧注入ライン A, B, Cループ 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 130B 3V-SI-134C, 136C	VT-3	類似弁ごとに 1	6	VT-3	類似弁ごとに 1	3V-SI- 136A		-							(重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側低圧注入ライン A, Bループ 3V-SI-208A, 209A 3V-SI-208B, 209B	VT-3	類似弁ごとに 1	4	VT-3	類似弁ごとに 1			-					3V-SI- 209A		
		SIS低温側低圧注入ライン A, B, Cループ 3V-SI-202A, 203A 3V-SI-202B, 203B 3V-SI-202C, 203C	VT-3	類似弁ごとに 1	6	VT-3	類似弁ごとに 1			-			3V-SI- 203C				(重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側補助注入ライン Cループ 3V-SI-088	VT-3	類似弁ごとに 1	1	VT-3	類似弁ごとに 1	3V-SI- 088		-							
B15.70	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%		可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス2機器)		
F1.41	F-A	支持構造物															
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%	3	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%	3V-RC- 057 1		-							(重大事故等クラス2機器)
		加圧器逃がし弁ライン 3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054C	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%	6	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%			-	3V-RC- 054A 1					(重大事故等クラス2機器)	
		3PCV-455A 3PCV-455B 3PCV-454C	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%	6	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%			-	3PCV- 455B 1					(重大事故等クラス2機器)	
		加圧器スプレイレイン A, Cループ 3PCV-454A 3PCV-454B	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%	4	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%			-		3PCV- 454A 1					
		加圧器補助スプレイレイン 3V-CS-225	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%	1	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%			-			3V-CS- 225 1				
		抽出ライン Cループ 3LCV-451 3LCV-452	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%	4	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%			-				3LCV-451 1			
		余熱除去ポンプ入口ライン B, Cループ 3PCV-420 3PCV-430	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%	4	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%			-					3PCV-430 1	(重大事故等クラス2機器)	
3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%	4	VT-3	類似弁ごと に1台の 25%			-			3V-RH- 003A 1			(重大事故等クラス2機器)			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



1. 原子炉容器（1／1）

NRA文書※1,※2					高浜発電所第3号機検査計画（7ヵ年）										備考
項目 番号	カテ ゴリ	検査対象箇所	検査 方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査 方法	検査の範囲 及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル		第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	
—	—	600系Ni基合金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基合金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。)													
		底部表面（計測用管台）	BMV	100%	50	BMV	100% 50	50	-			50			(重大事故等クラス2機器)

※1:「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))

※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第06051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果2019年度中の計画変更を踏まえ、2020年7月1日より亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

検査間隔延長プログラム

NISA文書※1,※2					高浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）																備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年			
								第19回	第20保全サイクル	-	第21保全サイクル				第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル					
-	-	配管の耐圧部分の溶接継手																					
		抽出ライン（3B）	体積	25%	18箇所	UT	25% 5	2		-						1		-	2				
		充てんライン（3B）	体積	25%	65箇所	UT	25% 17	2	2	-						5		-	7				(重大事故等クラス2機器)
		再生熱交換器連絡管(3B)																					
		抽出ライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% 3		1	-						1		-	1				
		充てんライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% 3		1	-						1		-	1				

※1:平成26年8月6日以降は、「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(原規技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定)を適用する。

※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第06051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果2019年度中の計画変更を踏まえ、2020年7月1日より亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉容器(1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高浜 発電所 第3号 機 検 査 計 画		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	クラス1 機器供用期間中検査で管理		
B1.102	B-A	下部胴の長手溶接継手	体 積	可能範囲 各100%			
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体 積	5% ※2			
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体 積	5% ※2			
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体 積	5% ※2			
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体 積	可能範囲 100%			
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体 積	可能範囲 各100%			
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体 積	可能範囲 各100%			
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体 積	可能範囲 各100%			
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体 積	可能範囲 各100%			
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手（呼び径100A以上）	体積及び 表 面	可能範囲 各100%			
		冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手（呼び径100A以上）	体積及び 表 面	可能範囲 各100%			
B6.10	B-G-1	ナット	V T-1	100%			
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体 積	100%			
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体 積	100%			
B6.50	B-G-1	ワッシャ	V T-1	100%			
B7.10	B-G-2	マーマンカップリング	V T-1	25%			

※1： NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2： 2020年7月1日より維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「5%」は「可能範囲100%」と読み替える。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉容器(2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	クラス1 機器供用期間中検査で管理		
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3	全範囲の7.5% 各検査時期毎※2			
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%			
		下部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%			
		炉心内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%			
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の7.5%			
		下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の7.5%			
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジングの溶接継手(上部)	体積又は表面	最外周の25%			
		制御棒駆動ハウジングの溶接継手(下部)					
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲100%			
F1.41	F-A	支持構造物 (サポートブラケット、サポートシュー、基礎ボルト)	VT-3	25%			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

※2: 2020年7月1日より維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「全範囲の7.5% 各検査時期毎」は「全範囲の7.5%」と読み替える。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

2. 加圧器(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画	備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度			
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡板との周継手	体積	5%	クラス1 機器供用期間中検査で管理		
		下部胴と下部鏡板との周継手	体積	5%			
B2.12	B-B	上部胴の長手継手	体積	各10%			
		下部胴の長手継手	体積	各10%			
B2.13	B-B	上部胴と下部胴との周継手	体積	5%			
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積	25%			
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体積	25%			
B5.40	B-F	管台とセーフエンドの溶接継手 (呼び径100A以上)				体積及び表面	25%
		加圧器逃がし弁管台					
		加圧器安全弁管台					
		加圧器スプレイ管台					
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	VT-1	25%			
B8.20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)	表面	7.5%			
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%			
F1.41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト)	VT-3	25%			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

3. 蒸気発生器(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画	備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
B2.40	B-B	管板と水室鏡との溶接継手	体 積	1基の 25%		
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分、 冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体 積	1基の 25%		
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手、 冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び 表 面	1基の 25%		
B7.30	B-G-2	1次側マンホールの取付けボルト	V T-1	1基の 25%		
B15.30	B-P	圧力保持範囲	V T-2	可能範囲 100%		
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	V T-3	1基の 25%		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等）新規要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

4. 配管(1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画	備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	クラス1 機器供用期間中検査で管理		
B9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)					
		1次冷却材管 (27.51NID, 836.00mm, 291NID, 311NID) A, B, Cループ	体積	25%			
		加圧器サージ管 (14B, 355.60mm)	体積	25%			
		加圧器安全弁ライン (6B) A, B, Cライン	体積	25%			
		加圧器逃がし弁ライン (6B)	体積	25%			
		余熱除去ポンプ入ロライン (12B) B, Cループ	体積	25%			
		S1S蓄圧注入ライン (12B, 318.50mm) A, B, Cループ	体積	25%			
		S1S低温側低圧注入ライン (6B) A, B, Cループ	体積	25%			
B9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)					
		加圧器逃がし弁ライン (3B)	表面	25%			
		余熱除去ポンプ入ロライン (12B) B, Cループ	表面	25%			
		CVC S 充てんライン (3B, 89.10mm) Bループ	表面	25%			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改訂版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

4. 配管(2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画		備考									
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	クラス1 機器供用期間中検査で管理											
B9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)														
		S I S 低温側ほう酸注入ライン (2B, 60, 50mm) A, B, Cループ	表面	25%												
B9.31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)														
		1次冷却材管 (4B, 6B, 12B, 14B) A, B, Cループ	体積	25%												
B9.32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)														
		1次冷却材管 (2B, 3B, 63, 50mm) A, B, Cループ	表面	25%												
		余熱除去ポンプ入口ライン (12B) B, Cループ	表面	25%												
		S I S 低温側低圧注入ライン (2B) A, B, Cループ	表面	25%												
B9.40	B-J	ソケット溶接継手														
		S I S 低温側ほう酸注入ライン (2B) A, B, Cループ	表面	25%												

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

4. 配管(3/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	クラス1機器供用期間中検査で管理	
B15.50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%		
F1.10	F-A	支持構造物				
		加圧器サージ管	VT-3	25%		
		加圧器逃がし弁ライン	VT-3	25%		
		余熱除去ポンプ入ロライン B, Cループ	VT-3	25%		
		CVC S 充てんライン Bループ	VT-3	25%		
		S I S 蓄圧注入ライン A, B, Cループ	VT-3	25%		
		S I S 低温側低圧注入ライン A, B, Cループ	VT-3	25%		
S I S 低温側ほう酸注入ライン A, B, Cループ	VT-3	25%				

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

5. 1次冷却材ポンプ(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画	備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
B6.180	B-G-1	スタッドボルト	体 積	1 台の25%		
B6.190	B-G-1	フランジ表面	V T-1	1 台の25%		ポンプ分解点検時に実施
B6.200	B-G-1	ナット	V T-1	1 台の25%		
		ワッシャ	V T-1	1 台の25%		
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	V T-3	1		ポンプ分解点検時に実施
B15.60	B-P	圧力保持範囲	V T-2	可能範囲 100%		
F1.41	F-A	支持構造物（支持脚、ベースプレート、基礎ボルト）	V T-3	1 台の25%		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

6. 弁(1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度		
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)			クラス1機器供用期間中検査で管理	
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%		
		加圧器逃がし弁ライン 3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%		
		3PCV-455A 3PCV-455B 3PCV-454C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%		
		CVCS充てんライン Bループ 3V-CS-233 3V-CS-234	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%		
		余熱除去ポンプ入ロライン B, Cループ 3PCV-420 3PCV-430	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%		
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%		
		SIS蓄圧注入ライン A, B, Cループ 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 136B 3V-SI-134C, 136C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%		
		SIS低温側低圧注入ライン A, B, Cループ 3V-SI-202A, 203A 3V-SI-202B, 203B 3V-SI-202C, 203C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲

6. 弁(2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面				
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RG-055 3V-RG-056 3V-RG-057	VT-3	類似弁ごとに1	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去ポンプ入ロライン B, Cループ 3PCV-420 3PCV-430	VT-3	類似弁ごとに1		
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-3	類似弁ごとに1		
		SIS蓄圧注入ライン A, B, Cループ 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 136B 3V-SI-134C, 136C	VT-3	類似弁ごとに1		
SIS低温側低圧注入ライン A, B, Cループ 3V-SI-202A, 203A 3V-SI-202B, 203B 3V-SI-202C, 203C	VT-3	類似弁ごとに1				
B15.70	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%		
F1.41	F-A	支持構造物				
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RG-055 3V-RG-056 3V-RG-057	VT-3	類似弁ごとに1台の25%		
		加圧器逃がし弁ライン 3V-RG-054A 3V-RG-054B 3V-RG-054C	VT-3	類似弁ごとに1台の25%		
		3PCV-455A 3PCV-455B 3PCV-454C	VT-3	類似弁ごとに1台の25%		
		余熱除去ポンプ入ロライン B, Cループ 3PCV-420 3PCV-430	VT-3	類似弁ごとに1台の25%		
3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-3	類似弁ごとに1台の25%				

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器 N i 基合金使用部位特別検査範囲）

1. 原子炉容器（1/1）

NRA文書※1, ※2				高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	クラス1 機器 N i 基合金使用部位特別検査で管理	
—	—	600系Ni基合金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。）				
		底部表面（計測用管台）	BMV	100%		

※1：「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（原規技発第1408063号（平成26年8月6日原子力規制委員会決定））

※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査範囲）

NRA文書※1, ※2					高浜発電所第3号機検査計画	備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査で管理		
—	—	配管の耐圧部分の溶接継手					
		充てんライン（3B）	体積	25%			
		再生熱交換器連絡管（3B）					
		充てんライン連絡管	体積	25%			

※1: 「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))

※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画

1. 格納容器スプレイ冷却器管側 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1					高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年)												備 考	
項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体 積	1基の7.5%	2	U T	1基の7.5%					-					A 7.5%	
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体 積	1基の7.5%	2	U T	1基の7.5%					-			A 7.5%			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

2. 余熱除去冷却器管側 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1					高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	クラス2機器供用期間中検査で管理		
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体 積	1基の7.5%			
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との溶接継手	体 積	1基の7.5%			
C2.21	C-B	管側入口管台及び管側出口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	7.5%			

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかわる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画

3. 配管 (1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1					高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年)										備 考				
項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
								第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル				
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手																	
		格納容器再循環サンプ出口ライン (355.60mm) Aライン (格納容器スプレイ系統)	表 面	7.5%	2	P T	7.5% 1			A 1		-							
C5.11	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径100OAを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの)																	
		格納容器再循環サンプ出口ライン (14B, 355.60mm) Aライン (格納容器スプレイ系統)	体積又は 表 面	7.5%	6	P T	7.5% 0					-							全箇所、ガードパイプ内の溶接継手であり、維持規格IA2360(接近性)の規定を適用し、検査を免除する。
		格納容器スプレイポンプ入口ライン (14B, 355.60mm) A、Bライン	体積又は 表 面	7.5%	24	P T	7.5% 2					-	A 1			B 1			
F1.21	F-A	支持構造物																	
		S I S 高温側低圧注入ライン Aライン	V T-3	7.5%	3	V T-3	7.5% 1						-		A 1				
		充てん/高圧注入ポンプ入口ライン	V T-3	7.5%	22	V T-3	7.5% 2						-	1		1			
		原子炉補機冷却水ポンプ出入口ライン	V T-3	7.5%	129	V T-3	7.5% 10			4			-	3				3	
		格納容器再循環サンプ出口ライン Aライン (格納容器スプレイ系統)	V T-3	7.5%	1	V T-3	7.5% 1						-					A 1	
		格納容器スプレイポンプ入口ライン Aライン	V T-3	7.5%	7	V T-3	7.5% 1						-					A 1	
		格納容器スプレイポンプ出口ライン A、Bライン	V T-3	7.5%	10	V T-3	7.5% 1						-					A 1	
		格納容器スプレイ冷却器出口ライン A、Bライン	V T-3	7.5%	19	V T-3	7.5% 2						-	A 1				B 1	
		格納容器スプレイ系統余熱除去系統 連絡ライン	V T-3	7.5%	13	V T-3	7.5% 1						-	1					
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	V T-3	7.5%	20	V T-3	7.5% 2						-	1					1
		可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	V T-3	7.5%	2	V T-3	7.5% 1						-						1
アニュラス空気浄化ライン	V T-3	7.5%	59	V T-3	7.5% 5				B 1		-	B 2					A 2		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画

3. 配管 (2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手				クラス2 機器供用期間中検査で管理
		余熱除去ポンプ入口ライン (318, 50mm, 355, 60mm) A、Bライン	表 面	7. 5%		
		余熱除去ポンプ出口ライン (267, 40mm) A、Bライン	表 面	7. 5%		
		S I S 低温側低圧注入ライン (165, 20mm, 267, 40mm) A、B、Cライン	表 面	7. 5%		
		S I S 低温側ほう酸注入ライン (89, 10mm) 共通ライン	表 面	7. 5%		
		充てん/高圧注入ポンプ入口ライン (216, 30mm)	表 面	7. 5%		
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン (89, 10mm, 114, 30mm)	表 面	7. 5%		
		1次冷却材管低温側高圧注入ライン (89, 10mm) ほう酸注入タンク出口側	表 面	7. 5%		
		格納容器再循環サンプ出口ライン (355, 60mm) A、Bライン (余熱除去系統)	表 面	7. 5%		
		C5.11	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径100Aを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの)		
余熱除去ポンプ入口ライン (12B, 14B, 318, 50mm, 355, 60mm) A、Bライン	体積又は表 面			7. 5%		
S I S 低温側低圧注入ライン (6B, 10B, 165, 20mm, 267, 40mm) A、B、Cライン	体積及び表 面			7. 5%		
		格納容器再循環サンプ出口ライン (14B, 355, 60mm) A、Bライン (余熱除去系統)	体積又は表 面	7. 5%		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

3. 配管 (3/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度			
C5.21	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50A以上100A以下で公称肉厚5mmを超えるもの)					
		SIS低温側ほう酸注入ライン(2B, 3B, 60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン	表面	7.5%			
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン(3B, 4B, 89, 10mm)	表面	7.5%			
C5.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(ソケット溶接継手)					
		SIS低温側ほう酸注入ライン(2B) A, B, Cライン	表面	7.5%			
C5.41	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50Aを超える、母管と管台及び母管と枝管)					
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン(3B)	表面	7.5%			
F1.21	F-A	支持構造物					
		余熱除去ポンプ入ロライン A, Bライン	VT-3	7.5%			
		余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン	VT-3	7.5%			
		SIS低温側低圧注入ライン A, B, Cライン	VT-3	7.5%			
		SIS低温側ほう酸注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%			
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%			
		格納容器再循環サンプ出ロライン A, Bライン(余熱除去系統)	VT-3	7.5%			

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画

4. 格納容器スプレイポンプ (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)												備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
								第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル		
06.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	4	PT	1台の7.5% 1					-	A 1				
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5% 1			A 1		-					

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画

5. 余熱除去ポンプ (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	クラス2 機器供用期間中検査で管理	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%		
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画

6. 原子炉補機冷却水ポンプ (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル			
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%	12	VT-3	1台の7.5% 1					-			A1			対象はA、B、C原子炉補機冷却水ポンプ

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画

7. 恒設代替低圧注水ポンプ (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1					高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年)										備 考			
項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%	2	VT-3	1台の7.5% 1					-			1			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

8. 弁 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1					高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年)												備 考		
項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
								第21保全 サイクル		第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル		第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル		
F1.43	F-A	支持構造物																	
		原子炉補機冷却水ポンプ出入口ライン 3V-TCV-2342A 3V-TCV-2342B	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	2	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5% ¹						-					3V-TCV- 2342A 1	
		格納容器スプレイ系統余熱除去系統 連絡ライン 3V-RH-100 3V-RH-101	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%	2	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5% ¹						-					3V-RH- 100 1	

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

8. 弁 (2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
F1.43	F-A	支持構造物			クラス2機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去ポンプ入口ライン A, Bライン 3V-RH-041A 3V-RH-041B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%		
		余熱除去ポンプ出口ライン A, Bライン 3V-RH-024A 3V-RH-024B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%		
		余熱除去ポンプ出口ライン A, Bライン 3PCV-601 3PCV-611	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%		
		余熱除去ポンプ出口ライン A, Bライン 3HCV-603 3HCV-613	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%		
		余熱除去ポンプ出口ライン A, Bライン 3FCV-604 3FCV-614	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%		
		SIS低温側低圧注入ライン A, Cライン 3V-SI-197A 3V-SI-197B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%		
		SIS低温側ほう酸注入ライン 3V-SI-042A 3V-SI-042B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%		
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン 3V-SI-023A 3V-SI-023B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

9. クラス2機器漏えい検査 (1/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年)												備 考 (漏えい区分)	
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
		化学体積制御系統															
C7.30 C7.70	C-H	体積制御タンク及び出入口ライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2					-					○	(SA-1)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2					-	○					(SA-2)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2					-	○					(SA-3)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2					-	○					(SA-4)
C7.30 C7.70	C-H	ほう酸タンク出入口ライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2				○	-						(SA-5)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	ほう酸ポンプ出口ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2					-					○	(SA-6)
C7.30 C7.70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん/高圧注入ポンプ出口側)	VT-2	18.8	18.8	VT-2			○		-						(SA-7)
C7.30 C7.70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん/高圧注入ポンプ入口側)	VT-2	1.4	1.4	VT-2			○		-						(SA-8)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

9. クラス2機器漏えい検査 (2/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年)												備 考 (漏えい区分)	
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
		余熱除去系統															
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2					-				○		(SA-9)
		B-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2						-	○				
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-余熱除去ポンプ出ロライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2					-	○					(SA-11)
		B-余熱除去ポンプ出ロライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2					-		○				
		燃料取替用水系統															
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク出ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					-	○					(SA-13)
		安全注入系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク及び出入ロライン	VT-2	4.9	4.9	VT-2					-		○				(SA-14)
		ほう酸注入タンク及び出入ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2					-	○					
C7.30 C7.70	C-H	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2)	VT-2	17.16	17.16	VT-2					-	○					(SA-16)
		格納容器再循環サンプ出ロライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	4.1	4.1	VT-2					-					○	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

9. クラス2機器漏えい検査 (3/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所 第3号機 検査計画 (10ヵ年)												備考 (漏えい区分)	
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
		格納容器スプレイ系統															
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					-	○					(SA-18)
		B-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					-				○		(SA-19)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					-				○		(SA-20)
		B-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					-					○	(SA-21)
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					-	○					(SA-22)
		格納容器再循環サンプ出ロライン(格納容器スプレイポンプ側)	VT-2	0.283	0.283	VT-2					-	○					(SA-23)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	恒設代替低圧注水ポンプ入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2				○	-						(SA-24)
		恒設代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2				○	-						(SA-25)
C7.30 C7.70	C-H	可搬式代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2				○	-						(SA-26)
		換気空調装置系統															
C7.30 C7.70	C-H	アニュラス空気浄化ライン	VT-2	0.01	0.01	VT-2					-			○			(SA-27)
C7.30	C-H	中央制御室換気空調設備入ロライン	VT-2	-0.00392	-	(*1)					-	○ (*2)	○ (*2)	○ (*2)	○ (*2)		(SA-56)
		中央制御室換気空調設備出ロライン	VT-2	0.00392	-	(*1)					-	○ (*2)	○ (*2)	○ (*2)	○ (*2)		(SA-57)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

(*1) 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施

(*2) 分割して外観点検を実施



重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

9. クラス2機器漏えい検査 (4/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所 第3号機 検査計画 (10ヵ年)													備考 (漏えい区分)
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
		原子炉補機冷却水系統															
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A、B、C-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2					-			○			(SA-42)
		原子炉補機冷却水ポンプ出口A供給ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2					-			○			(SA-43)
		原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2					-		○				(SA-44)
C7.30 C7.70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(原子炉補機冷却水側)	VT-2	0.98	0.98	VT-2					-		○			(SA-45)	
		空気系統															
C7.30 C7.70	C-H	制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1)	VT-2	0.98	0.98	VT-2					-	○					(SA-53)
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2)	VT-2	0.98	0.98	VT-2					-	○					(SA-54)
		アニュラスダンパ作用室素供給ライン	VT-2	0.83	0.83	VT-2				○	-						(SA-55)
		補助給水系統															
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ出口ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2				○	-						(SA-40)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画

10. 原子炉補機冷却水冷却器胴側 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル			
C1.10	C-A	胴側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%					-				A 7.5%		対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
		胴側胴の周溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%					-		A 7.5%				対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
C3.10	C-C	胴と当板との溶接継手	表面	1基の7.5%	4	PT	1基の7.5% 1					-		A 1				対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
F1.43	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% 1					-		A 1				対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画

1.1. クラス2機器漏えい検査 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年)											備 考 (漏えい区分)		
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
		主給水系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-		○				(SA-28)
		B-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-		○				(SA-29)
		C-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-			○			(SA-30)
		主蒸気系統															
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-		○				(SA-31)
		B-蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-		○			(SA-32)	
		C-蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-			○		(SA-33)	
		補助給水系統															
C7.30 C7.70	C-H	タービン動補助給水ポンプ蒸気ライン	VT-2	8	8	VT-2					-			○			(SA-34)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	タービン動補助給水ポンプ・燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					-			○			(SA-35)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	タービン動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	12.3	VT-2					-				○		(SA-36)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	電動補助給水ポンプ入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2					-			○			(SA-37)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	電動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	12.3	VT-2					-				○		(SA-38)
C7.30 C7.70	C-H	補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	8.6	8.6	VT-2					-				○		(SA-39)
		2次系補助給水系統															
C7.30 C7.70	C-H	復水タンク給水ライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2					-			○			(SA-41)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画

1.1. クラス2 機器漏えい検査 (2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)											備考 (漏えい区分)		
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
		原子炉補機冷却海水系統															
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン(海水ストレナ入口)	VT-2	0.7	0.7	VT-2					-			○			(SA-46)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン(A原子炉補機冷却水冷却器海水出入口ライン)	VT-2	1.2	1.2	VT-2					-			○			(SA-47)
		A-海水ポンプ出口ライン(B原子炉補機冷却水冷却器海水出入口ライン)	VT-2	0.7	0.7	VT-2					-			○			(SA-48)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2					-				○		(SA-49)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2					-				○		(SA-50)
C7.30 C7.70	C-H	A,B原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2					-			○			(SA-51)
		C,D原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2					-				○		(SA-52)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画（原子炉格納容器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉格納容器（1/1）

発電用原子力設備規格 維持規格（2008年版） JSME S NA1-2008※1							高浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）										備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第21保全サイクル		第22保全サイクル		第23保全サイクル		—	第24保全サイクル		第25保全サイクル	
E8.10	E-G	機器搬入口圧力保持用ボルト締付け部	VT-4	25%	72	VT-4	25% 18			18		—						

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

1. 余熱除去冷却器 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1					高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年)												備 考	
項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体 積	1基の7.5%	2	U T	1基の7.5%	A 7.5%				-						(重大事故等クラス2機器)
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との溶接継手	体 積	1基の7.5%	2	U T	1基の7.5%	A 7.5%				-						(重大事故等クラス2機器)
C2.21	C-B	管側入口管台及び管側出口管台と管側胴との溶接継手	体積及び 表 面	7.5%	4	U T P T	7.5% 1					-	A 1 (入口)					(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

2. 配管 (1/5)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)													備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年			
								第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル					
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手																		
		余熱除去ポンプ入ロライン (318.50mm, 355.60mm) A, Bライン	表面	7.5%	12	PT	7.5% 1	A1					-						(重大事故等クラス2機器)	
		余熱除去ポンプ出ロライン (267.40mm) A, Bライン	表面	7.5%	3	PT	7.5% 1	A1					-							(重大事故等クラス2機器)
		S1S高温側低圧注入ライン (267.40mm) Aライン	表面	7.5%	4	PT	7.5% 1			A1			-							
		S1S低温側低圧注入ライン (165.20mm, 267.40mm) A, B, Cライン	表面	7.5%	11	PT	7.5% 1						-	A1						(重大事故等クラス2機器)
		S1S高温側補助注入ライン (60.50mm, 89.10mm) A, B, C, 共通ライン	表面	7.5%	10	PT	7.5% 1						-	共通1						
		S1S低温側補助注入ライン (89.10mm) 共通ライン	表面	7.5%	2	PT	7.5% 1						-				共通1			
		補助注入ライン (89.10mm, 114.30mm)	表面	7.5%	4	PT	7.5% 1						-						1	
		S1S低温側ほう酸注入ライン (89.10mm) 共通ライン	表面	7.5%	3	PT	7.5% 1	共通1					-							(重大事故等クラス2機器)
		充てん/高圧注入ポンプ入ロライン (216.30mm)	表面	7.5%	3	PT	7.5% 1		1				-							(重大事故等クラス2機器)
		充てん/高圧注入ポンプ出ロライン (89.10mm, 114.30mm)	表面	7.5%	3	PT	7.5% 1			1			-							(重大事故等クラス2機器)
		1次冷却材管高温側高圧注入ライン (89.10mm)	表面	7.5%	2	PT	7.5% 1						-	1						
		1次冷却材管低温側高圧注入ライン (89.10mm)	表面	7.5%	2	PT	7.5% 1						-	1						
		1次冷却材管高温側高圧注入ライン (89.10mm) ほう酸注入タンク入口側	表面	7.5%	2	PT	7.5% 1						-				1			
		1次冷却材管低温側高圧注入ライン (89.10mm) ほう酸注入タンク出口側	表面	7.5%	2	PT	7.5% 1						-					1		(重大事故等クラス2機器)
格納容器再循環サンブ出ロライン (355.60mm) A, Bライン	表面	7.5%	8	PT	7.5% 1		A1				-							(重大事故等クラス2機器)		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技第06051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

2. 配管 (2/5)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (10カ年)													備 考			
項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年			
								第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル					
C5.11	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手（呼び径100Aを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの）																		
		余熱除去ポンプ入ロライン (12B, 14B, 31B, 50mm) A, Bライン	体積又は 表面	7.5%	62	PT	7.5% 5	A1					-	B1			A1	B1	(重大事故等クラス2機器)	
		SIS高温側低圧注入ライン (6B, 10B, 267, 40mm) A, Bライン	体積及び 表面	7.5%	17	UT PT	7.5% 2	A1	A1(PT)				-					A1(UT)		
		SIS低温側低圧注入ライン (6B, 10B, 165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン	体積及び 表面	7.5%	60	UT PT	7.5% 5	A1 B1	A1(PT)				-	B1				A1(UT)		(重大事故等クラス2機器)
		格納容器再循環サンブ出ロライン (14B, 355, 60mm) A, Bライン	体積又は 表面	7.5%	25	PT	7.5% 2			A1			-				B1		(重大事故等クラス2機器)	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技第06051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果2019年度中の計画変更を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



2. 配管 (3/5)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)													備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
								第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル				
05.21	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50A以上100A以下で公称肉厚5mmを超えるもの)																	
		SIS高温側補助注入ライン(2B, 3B, 60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン	表面	7.5%	119	PT	7.5% 9	A1 B1		C1			-	B1 共通2			B1 共通1	C1	
		SIS低温側補助注入ライン(2B, 3B, 60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン	表面	7.5%	58	PT	7.5% 5	A1					-	C1 共通1			共通1	共通1	
		補助注入ライン(3B, 4B, 89, 10mm)	表面	7.5%	32	PT	7.5% 3	1					-	1			1		
		SIS低温側ほう酸注入ライン(2B, 3B, 60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン	表面	7.5%	65	PT	7.5% 5	A1					-	共通1			共通1	共通1	(重大事故等クラス2機器)
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン(3B, 4B, 89, 10mm)	表面	7.5%	35	PT	7.5% 3			1			-	1			1		(重大事故等クラス2機器)
05.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(ソケット溶接継手)																	
		SIS高温側補助注入ライン(2B) A, B, Cライン	表面	7.5%	18	PT	7.5% 2	A1					-				B1		
		SIS低温側補助注入ライン(2B) A, B, Cライン	表面	7.5%	9	PT	7.5% 1						-	C1					
		SIS低温側ほう酸注入ライン(2B) A, B, Cライン	表面	7.5%	9	PT	7.5% 1						-			A1		(重大事故等クラス2機器)	
05.41	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50Aを超える、母管と管台及び母管と枝管)																	
		補助注入ライン(3B)	表面	7.5%	1	PT	7.5% 1			1			-						
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン(3B)	表面	7.5%	1	PT	7.5% 1						-	1					(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第06051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果2019年度中の計画変更を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



2. 配管 (4/5)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)													備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年			
								第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル					
F1.21	F-A	支持構造物																		
		余熱除去ポンプ入ロライン A, Bライン	VT-3	7.5%	52	VT-3	7.5% 4	A1					-	B1			A1	B1	(重大事故等クラス2機器)	
		余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン	VT-3	7.5%	80	VT-3	7.5% 6	A1 B1					-	A1 B1			A1	B1	(重大事故等クラス2機器)	
		SIS高温側低圧注入ライン Aライン	VT-3	7.5%	20	VT-3	7.5% 2			A1			-	A1						
		SIS低温側低圧注入ライン A, B, Cライン	VT-3	7.5%	46	VT-3	7.5% 4			A1			-	B1			C1	A1	(重大事故等クラス2機器)	
		補助注入ライン	VT-3	7.5%	23	VT-3	7.5% 2	1						-	1					
		充てん/高圧注入ポンプ出ロライン	VT-3	7.5%	27	VT-3	7.5% 3	1						-	1			1		(重大事故等クラス2機器)
		充てん/高圧注入ポンプ入ロライン	VT-3	7.5%	23	VT-3	7.5% 2	1							-			1		
		格納容器再循環サンプ出ロライン A, Bライン	VT-3	7.5%	16	VT-3	7.5% 2			A1								B1	(重大事故等クラス2機器)	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第06051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果2019年度中の計画変更を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



2. 配管 (5/5)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1					高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)												備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
								第23保全サイクル	—	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	—	第28保全サイクル	第29保全サイクル		
F1.21	F-A	支持構造物																
		SIS高温側補助注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%	83	VT-3	7.5% 7	C1	—	共通1		共通1	共通1		—	C1	共通2	
		SIS低温側補助注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%	56	VT-3	7.5% 5		—	A1		A1	共通1		—	共通1	A1	
		SIS低温側ほう酸注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%	59	VT-3	7.5% 5		—	A1		A1	共通1		—	A1	A1	(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



3. 余熱除去ポンプ（1/1）

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)													備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル			
06.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	4	PT	1台の7.5% 1			A1		-						(重大事故等クラス2機器)
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5% 1					-	A1					(重大事故等クラス2機器)

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



4. 弁 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)												備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
								第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル				
F1.43	F-A	支持構造物																	
		余熱除去ポンプ入ロライン A, Bライン 3V-RH-041A 3V-RH-041B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 1	3V-RH-041A					-						(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン 3V-RH-024A 3V-RH-024B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 1						-	3V-RH-024A					(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン 3PCV-601 3PCV-611	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 1						-	3PCV-611					(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン 3HCV-603 3HCV-613	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 1						-			3HCV-603			(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン 3FCV-604 3FCV-614	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 1						-				3FCV-614		(重大事故等クラス2機器)
		SIS低温側低圧注入ライン A, Cライン 3V-SI-197A 3V-SI-197B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 1	3V-SI-197B						-					(重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側補助注入ライン 3V-SI-082 3V-SI-101 3V-SI-301 3V-SI-303	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	8	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 1		3V-SI-101					-					
		SIS低温側補助注入ライン 3V-SI-094 3V-SI-302	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 1							-	3V-SI-094				
SIS低温側ほう酸注入ライン 3V-SI-042A 3V-SI-042B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 1							-	3V-SI-042A				(重大事故等クラス2機器)		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。



4. 弁 (2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)													備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年		
								第23保全サイクル	—	第24保全サイクル		第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	—	第28保全サイクル	第29保全サイクル		
F1.43	F-A	支持構造物																	
		SIS高温側低圧注入ライン Aライン 3V-SI-206	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	1	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 1		—						—			3V-SI-206 1	
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン 3V-SI-023A 3V-SI-023B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 1		—						—		3V-SI-023B 1		(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査 (1/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)											備考 (漏えい区分)		
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
		化学体積制御系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	体積制御タンク及び出入ロライン	VT-2	0.11	0.11	VT-2					-					○	一部又は全部を気圧により検査 (3-1)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2					-	○					(3-2)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2			○		-						(3-3)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	抽出ライン(1)	VT-2	15.41	15.41	VT-2				○	-						(3-5)
		抽出ライン(2)	VT-2	2.16	2.16	VT-2				○	-						
C7.30 C7.70	C-H	抽出ライン(3)	VT-2	0.46	0.46	VT-2					-		○				(3-7)
		封水戻りライン(PEN#217)	VT-2	0.20	0.20	VT-2		○			-						
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	体積制御タンク入口ロライン	VT-2	0.19	0.19	VT-2			○		-						(3-8)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	ほう酸タンク出入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2	○				-						(3-9)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	ほう酸ポンプ出口ロライン	VT-2	0.71	0.71	VT-2					-					○	(3-10)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査 (2/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)											備考 (漏えい区分)		
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
		余熱除去系統															
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	2.75	2.75	VT-2					-				○		(3-11)
		B-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	2.75	2.75	VT-2					-	○					(3-12)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-余熱除去ポンプ出ロライン	VT-2	3.56	3.56	VT-2					-	○					(3-13)
		B-余熱除去ポンプ出ロライン	VT-2	3.56	3.56	VT-2			○		-						(3-14)
		燃料取替用水系統															
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク出ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2	○				-						(3-15)
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク原子炉キャビティ連絡ライン(PEN#222)	VT-2	0.14	0.14	VT-2	○				-						(3-41)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査 (3/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)												備考 (漏えい区分)		
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル				
		安全注入系統																
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2	4.22	4.22	VT-2			○		-						一部又は全部を気圧により検査 (3-16)	
		ほう酸注入タンク及び出入口ライン	VT-2	8.00	8.00	VT-2					-	○					(3-17)	
C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク注入ライン(PEN#216)	VT-2	4.40	4.40	VT-2					-					○	(3-43)	
		蓄圧タンクテストライン(PEN#227)	VT-2	6.90	6.90	VT-2					-					○	(3-44)	
		充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2)	VT-2	8.00	8.00	VT-2					-	○						(3-19)
		充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(3)	VT-2	8.00	8.00	VT-2					-	○						(3-20)
		充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(4)	VT-2	8.00	8.00	VT-2			○		-							(3-21)
		格納容器再循環サンプル出口ライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2						-					○	(3-22)
		格納容器スプレイ系統																
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	よう素除去薬品タンク及び出入口ライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2					-	○					一部又は全部を気圧により検査 (3-23)	
C7.30 C7.70	C-H	よう素除去薬品タンク出口ライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2					-	○					(3-85)	
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ入口ライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2					-	○					(3-24)	
		B-格納容器スプレイポンプ入口ライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2					-				○		(3-25)	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ出口ライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2					-				○		(3-26)	
		B-格納容器スプレイポンプ出口ライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2					-				○		(3-27)	
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スレイポンプ出口ライン	VT-2	1.64	1.64	VT-2	○				-						(3-28)	
		格納容器再循環サンプル出口ライン(格納容器スレイポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2					-	○						(3-29)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかわる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査 (4/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)											備考 (漏えい区分)		
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
		主給水系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2					-		○				(3-30)
		B-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2					-		○				
		主蒸気系統															
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器出ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2					-		○				(3-33)
		B-蒸気発生器出ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2					-		○				
		1次系補給水系統															
C7.30 C7.70	C-H	加圧器逃がしタンクPMW供給ライン(PEN#279)	VT-2	0.80	0.80	VT-2	○				-						(3-38)
		1次系補給水ライン(PEN#268)	VT-2	0.60	0.60	VT-2	○				-						
		廃棄物処理系統															
C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク窒素充てんライン(PEN#218)	VT-2	4.40	4.40	VT-2	○				-						一部又は全部を気圧により検査 (3-42)
		格納容器冷却材ドレンポンプ出ロライン(PEN#225)	VT-2	0.70	0.70	VT-2	○				-						(3-83)
		格納容器サンポンプ出ロライン(PEN#234)	VT-2	0.15	0.15	VT-2	○				-						(3-84)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査 (5/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)												備考 (漏えい区分)			
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年			
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル					
		蒸気発生器ブローダウン系統																	
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#319)	VT-2	4.80	4.80	VT-2		○			-						(3-45-1)		
		B-蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#318)	VT-2	4.80	4.80	VT-2		○			-							(3-45-2)	
		C-蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#317)	VT-2	4.80	4.80	VT-2		○			-							(3-45-3)	
		試料採取系統																	
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器ブローダウンサンプルライン(PEN#259L)	VT-2	4.80	4.80	VT-2			○		-							(3-46-1)	
		B-蒸気発生器ブローダウンサンプルライン(PEN#259M)	VT-2	4.80	4.80	VT-2					-	○						(3-46-2)	
		C-蒸気発生器ブローダウンサンプルライン(PEN#259R)	VT-2	4.80	4.80	VT-2					-				○			(3-46-3)	
		加圧器気相部サンプルライン(PEN#231R)	VT-2	15.41	15.41	VT-2					-						○		(3-60)
		加圧器液相部・Bループ高温側サンプルライン(PEN#231M)	VT-2	15.41	15.41	VT-2					-					○			(3-61)
		Aループ高温側サンプルライン(PEN#235)	VT-2	15.41	15.41	VT-2					-							○	(3-64)
		蓄圧タンクサンプルライン(PEN#231L)	VT-2	4.40	4.40	VT-2					-							○	(3-65)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査 (6/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)											備考 (漏えい区分)				
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年			
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル					
		原子炉補機冷却水系統																	
C7.30 C7.70	C-H	CRDM冷却ユニット他冷却水入ロライン(PEN#313)	VT-2	0.60	0.60	VT-2					-				○		(3-56)		
		CRDM冷却ユニット他冷却水出ロライン(PEN#314)	VT-2	0.07	0.07	VT-2					-				○			(3-57)	
		RCP冷却水入ロライン(PEN#312)	VT-2	0.50	0.50	VT-2			○		-							(3-58)	
		RCP冷却水出ロライン(PEN#311)	VT-2	0.07	0.07	VT-2			○		-								(3-59)
		A・B-C/V再循環ユニット冷却水入ロライン(PEN#255)	VT-2	0.60	0.60	VT-2	○					-							(3-87)
		A-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#256)	VT-2	0.50	0.50	VT-2	○					-							(3-88)
		B-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#257)	VT-2	0.50	0.50	VT-2						-	○						(3-89)
		C・D-C/V再循環ユニット冷却水入ロライン(PEN#229)	VT-2	0.60	0.60	VT-2						-	○						(3-90)
		C-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#230)	VT-2	0.50	0.50	VT-2						-	○						(3-91)
		D-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#232)	VT-2	0.50	0.50	VT-2	○					-							(3-92)
		DRPI室冷却ユニット冷却水入ロライン(PEN#274)	VT-2	0.25	0.25	VT-2	○					-							(3-93)
DRPI室冷却ユニット冷却水出ロライン(PEN#275)	VT-2	0.25	0.25	VT-2						-					○		(3-94)		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査 (7/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)												備考 (漏えい区分)	
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル			
		空気系統															
C7.30 C7.70	C-H	制御用空気ライン(PEN#260)	VT-2	0.66	0.66	VT-2	○				-						一部又は全部を気圧により検査 (3-74)
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1)(PEN#262)	VT-2	0.66	0.66	VT-2	○				-						一部又は全部を気圧により検査 (3-75)
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2)(PEN#284)	VT-2	0.66	0.66	VT-2			○		-						一部又は全部を気圧により検査 (3-76)
		所内用空気供給ライン(PEN#265)	VT-2	0.71	0.71	VT-2			○		-						一部又は全部を気圧により検査 (3-77)
		消火水系統															
C7.30 C7.70	C-H	消火水ライン(PEN#271)	VT-2	1.30	1.30	VT-2	○				-						(3-78)
		炭酸ガス系統															
C7.30 C7.70	C-H	CO2消火ライン(PEN#316)	VT-2	4.40	4.40	VT-2					-	○					一部又は全部を気圧により検査 (3-79)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

3. クラス2機器漏えい検査 (8/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1				高浜発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)													備考 (漏えい区分)
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
							第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル		第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	-	第28保全 サイクル	第29保全 サイクル	
		化学体積制御系統															
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2		-						-	○		(3-4)
		安全注入系統															
C7.30 C7.70	C-H	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(1)	VT-2	8.00	8.00	VT-2		-						-	○		(3-18)
		主給水系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	C-蒸気発生器給水入口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2		-						-		○	(3-32)
		主蒸気系統															
C7.30 C7.70	C-H	C-蒸気発生器出口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2		-						-		○	(3-35)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。